



志木二小だより

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小

令和4年度 3月号
志木市立志木第二小学校
志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	3/1現在
	82	90	86	74	95	71	12	510

1年間 ありがとうございました

校長 松本 秀之

令和4年度も残り1か月となりました。今月3月は、旧暦では「弥生（やよい）」と称され、その語源を探ってみますと、「弥生（いやおい）」が変化して「やよい」と読むようになったとのことです。ちなみに、弥生の「弥」はいよいよ・ますます、「生」は草木が芽吹くことを意味しているそうです。また、二十四節季からも「啓蟄（けいちつ）」や「春分」など、新しい始まりを感じさせる時期でもあります。通勤通学途上の梅の木に、可憐な花が色づき始め、少しずつ変わる季節の移ろいを感じる中、どの学年・学級も今学期の残りの日数を数え、時を惜しむ毎日を送っています。特に、卒業を間近に控えた6年生は、一日一日を大切に過ごしています。

さて、令和4年度を振り返ってみますと、withコロナとして、感染症対策をしっかりも行いながらも、コロナ前の行事等も復活させようと、様々な取組チャレンジしました。3年ぶりの行事ばかりで、教職員も新規事業のように四苦八苦しながらも、子供たちの喜ぶ姿を思い浮かべ、なんとか実施することができました。

また、4月の掲げた今年度の重点である「学級通信」全学級作成は、コロナ禍で生じた学校と家庭の距離感を縮めるべくスタートした取組でしたが、学校評価でも大変好評を得ることができ、全担任の努力が報われました。

今年1年間、多くのチャレンジをやり切ることができたのも、本校の教育活動に御理解を賜り、多大なる御支援をいただきましたPTA保護者の皆様、交通指導員さんをはじめ、各町内会を中心としたパトロール、志木っ子クラブなど多くの皆様おかげです。本当にありがとうございました。

最後になりますが、校長講話で児童に紹介した詩です。他にもたくさんある「1秒の言葉」をぜひ探してみましょ。

～一秒の言葉 小泉吉宏 作～

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に
人の優しさを知ることがある

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で
勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で
しあわせにあふれることがある

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に
人の弱さを見ることがある

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が
一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒